

「学校自己評価」についての意見等（関係者による評価）

○ 御校の伝統と実績に基づいた教育活動全般に対して、敬意を表します。現場で様々な学校の実状を目にするにつけ、御校以上に「精神」に重きを置いた教育を徹底されている学校はないと、改めて感じます。一方で、時代の変化に柔軟に対応されてきたご様子も伝わってきます（アンサンブル科目の充実、積極的な校外活動、AED 実習等）。社会に貢献する「人を創る教育」に一層ご尽力されている事がうかがえます。 武蔵野の精神が、卒業生である私達の心の礎となっているのと同様に、後輩達が心ある音楽家に成長してくれる事を、切に願います。

○ 音楽科の特性が最大限に活かされた教育が実践されており、演奏技能や音楽性を伸ばすための環境が整っています。また、専門科目の学習、実技試験やコンサートでの演奏機会等を通じ、大学における高度な専門教育を受けるための十分な準備ができることは、附属高校の大きな利点であると思います。

今後も充実した教育を維持・発展させるためには一定の生徒数確保が必要と考えられますが、小・中学生を対象とした講習会や説明会が年間を通して多数運営されており、数少ない教職員の方々が広報活動に尽力されていることを大変心強く感じます。

○ 専門教育については、主科副科の個別のレッスンははじめ、その他の音楽関連科目についても、音楽科の高校として、十分な水準を達成できているものと思います。

一方で、専門以外の一般教科については、生徒間の学力的な幅（分散）が相当大きいと思われ、例えば学年を超えた習熟度別の授業編成や単位制高校への移行など、今後に向けたご検討の余地もあるかと思われます。

また、生活指導やメンタルケアなど、高校生活特有のデリケートな領域については、生徒自身や保護者を交えた対応をご検討いただきたく思います。

○ 保護者の見地から拝見しました「学校自己評価」は、適切な評価であると思います。息子はどの行事も真剣に、楽しく取り組んでおりました。相談活動については、日頃の生徒たちの言動からトラブル案件を見極めるのは困難ですが、今後より一層きめ細やかに対応できる体制の強化を望みます。

人間キャンパスは、昨年度は修理が多かったようですが、広大で自然に恵まれたキャンパスは、音楽を学ぶには最適な環境と思いますので、引き続き安全管理の充実をお願いしたいと思います。

○ 昨年度も高校生が出演するコンサートに何回か顔を出させて頂きました。私が在席していた頃とはまた一味違い、高校生たちの演奏の幅が広がっていて、ステージに立つ高校生たちの堂々とした姿に感動しました。また、12月に行われた演奏会では、ただ演奏するだけではなく、先生方が曲解説をしたり、高校生が音楽について学んでいることについて話したりする時間もあり、高校生たちが、日々どのように音楽を学んでいるのかを知ることができました。

年度末に行われた学習発表では、自分の専攻だけではなく、様々な楽器や演奏形態での発表を見ることができ、生徒たちが多方面から音楽を学んでいるのだと感じました。また、進行が生徒によって行われるのもよいと思いました。多くの観客の前で進行する難しさ等を知ることは、これからの社会で必要な力になると思うので、すばらしいなと思いました。

長くなってしまいましたが、昨年度も大変お世話になりました。ありがとうございました。